

専門用語、日本語に苦戦



三建設備工業

ノウ・ズィン・モーテッさん

技術統括本部
電気計装システム部



（1面から続く）ミャンマーは建築の発展が遅れていると感じる部分があり、母国の役に立ちたくて土木の勉強を始めました。大学の工学部で

ダムを専門に学びましたが、水量の計算などは現在の設備の仕事につながっているところもあります。ミャンマーでも日本企業によるホテルや自動車工場のプロジェクトがあり、空調衛生設備の技術力や設計の精度は他国よりもずっと高い印象でした。

2017年に大学を卒業し、ミャンマーの土木関連会社で1年間インターンシップ（就業体験）をした後、来日して就職活動を始めました。

21年に三建設備工業に入社しました。日本語がとても難しく、専門用語に苦戦しましたが、新入社員研修では設備の計算式やCADなど基礎から優しく教えてもらいました。仕事以外でも、先輩や同僚が料理の作り方など生活面でアドバイスしてくれたので感謝しています。

入社以来、技術統括本部に在籍しています。22年に当社が空調設備を手がけた21階建ての岐阜県庁で、引き渡し前のシステム調整に携わりました。約1カ月かけて数百個の吹き出し口を測定器でチェックする業務で、大型物件の現場を体験できたことは貴重な財産です。

23年に東京支社の設計部で実務を1年間経験し、24年にBIMのチームに入りました。API（応用プログラムインターフェース）連携などを担当しており、業務の自動化に取り組んでいます。より便利に、少しでも時間を短縮できるようにデジタル関連の勉強に力を入れています。

週2回はジョギングし、ジム通いを続けています。登山が好きで、東京の高尾山や千葉の鋸山に登りました。何事も新しいことに挑戦したい性格です。後輩には失敗を恐れず挑戦することの大切さを伝えていきたいです。

（文＝地主豊、写真＝会津陸人）